

学修の成果に係る評価・卒業の認定に当たっての基準

学修の成果に係る評価

単位認定について

- ・単位認定は、試験あるいはそれに代わる方法で行います。
- ・規定の時間数以上欠席した科目については、単位認定を行いません。

成績評価について

- ・成績評価は、試験あるいはそれに代わる方法で行います。
- ・規定の時間数以上欠席した科目については、不合格（「不可」）となります。
- ・成績評価は、

秀（100～90点）

優（89～80点）

良（79～70点）

可（69～60点）以上合格

不可（59～0点）不合格

- ・GPA 制度について

上記の成績評価のほかに、GPA 制度を活用している。

本学では各科目の成績1単位につき、ポイントの評価点を与えています。各科目の単位数に評価点を乗じたものの総合計を総履修登録単位数（不可の科目の単位数も含まれる）で除したものがGPAとなります。

※成績1単位につきポイント数

秀⇒4ポイント、優⇒3ポイント、良⇒2ポイント、可⇒1ポイント、不可⇒0ポイント

GPA＝

$$\frac{(\text{秀の科目の単位数} \times 4) + (\text{優の科目の単位数} \times 3) + (\text{良の科目の単位数} \times 2) + (\text{可の科目の単位数} \times 1)}{\text{総履修登録単位数 (全科目)}}$$

学生のGPAは教務委員会で共有し、GPA 2.7以上を成績優秀とし、翌年度履修登録上限を超えた履修「最高54単位」を認めている。他に進級判定、奨学金の選考にも利用している。

卒業の認定に当たっての基準

卒業認定について

休学期間を除き、4年以上在学し卒業要件に定める所定の単位及び教養科目、専門科目の履修においてディプロマポリシーを満たす科目の単位を修得した者には、卒業判定教務委員会、卒業判定教授会の審議を経て学長が卒業を認定し、学士（総合人間学）の学位を授与します。

1. 人間福祉心理学科 卒業要件（2022年度以前入学者）

学則に定める、必修、選択必修の取得を含め、教養科目 30 単位以上、専門科目 72 単位以上、合計 124 単位以上の単位取得によって卒業とする。

学則別表 2： 履修表

人間福祉心理学科

分 野	履 修 方 法	単位数計
教養科目	必修単位 ・総合人間学（2単位） ・聖書を読む（2単位） ・キリスト教概論Ⅰ（2単位） ・社会福祉原論Ⅰ（2単位） ・心理学（2単位） ・コミュニケーションの演習（2単位） ・英語科目から2単位選択必修	
	を含めて、教養科目小計が、少なくとも	30 単位
専門科目	必修単位 ・総合人間学コア科目群から8単位を選択必修 ・総合人間学キリスト教といのち科目群から4単位を選択必修 ・「キャリアデザイン基礎」、「キャリアデザイン実践」 「ソーシャルワーク演習Ⅲ」より2単位を選択必修	
	を含めて、専門選択科目小計が、少なくとも	72 単位
合 計		
	全体として、少なくとも	124 単位

2. 人間福祉心理学科 卒業要件 (2023 年度以降入学者)

学則に定める、必修、選択必修の取得を含め、教養科目 30 単位以上、専門科目 72 単位以上、合計 124 単位以上の単位取得によって卒業とする。

学則別表 2 : 履修表

人間福祉心理学科

分野	履修方法	単位数計
教養科目	必修単位 ・総合人間学序論 (2 単位) ・キリスト教概論 I (2 単位) ・社会福祉原論 I (2 単位) ・心理学 (2 単位) ・コミュニケーションの演習 (2 単位) ・データサイエンス入門 (2 単位) ・データサイエンス基礎 (2 単位) ・英語科目から 2 単位選択必修	30 単位
	を含めて、教養科目小計が、少なくとも	
専門科目	必修単位 ・「人間・いのち・世界」 (2 単位) ・「ソーシャルワーカー演習 II」 「臨床心理フレッシュマンゼミ」 「人間学フレッシュマンゼミ」から 2 単位を選択必修	72 単位
	を含めて、専門選択科目小計が、少なくとも	
合計		124 単位
	全体として、少なくとも	